

STEALTH MODE ステルス枠

フルハイトドア®

FULL HEIGHT DOOR®

施工手順書③-1

扉・金物の取付

↓施工動画はコチラ



片開き戸、親子戸

ステルス枠 施工手順書一覧

共通

※シリーズ専用以外の共通編の施工手順書は工事内容別で下記の①、②、③に分かれています。
 ※マルコシリーズの2・3枚引違い戸(上吊)、2枚引込み戸(上吊・連動)は共通編をご覧ください。
 ※本書の準耐火仕様とは、ご注文の際に当社の「準耐火仕様」を選択した場合に限ります。

①木工事

①-1.木工事・標準仕様 / ①-2.木工事・準耐火仕様

②クロス・塗り壁工事

③扉・金物の取付

③-1. 片開き戸、親子戸

③-2. 片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)

③-3. 2・3枚引込み戸(上吊・連動)、3枚引違い戸(上吊・連動/非連動)

③-4. 片引き戸(床付レール)

シリーズ専用

※シリーズ専用の施工手順書(④~⑨)は木工事、クロス・塗り工事、扉・金物の取付が一式含まれます。

④クローゼット

④-1. 折れ戸 ④-2. 物入片開き戸、両開き戸、物入4枚・6枚開き戸

④-3. スライド片開き戸

⑤オートマチックドア

⑤-1. 片引き戸(上吊) ⑤-2. 片開き戸

⑥ヴェトロ

⑥-1. アウトセット片引き戸(上吊) ⑥-2. 片開き戸

⑦カエサル

⑦-1. スイングドア、サイドガラスユニット

⑧マルコ

⑧-1. 3枚引込み戸(上吊・非連動) ⑧-2. 2枚引分け戸、4枚引違い戸(上吊)

⑨フィット

⑨-1. スイングドア ⑨-2. 片引き戸(上吊) ⑨-3. 2枚引違い戸(上吊)

施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください



● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

- 枠・下地枠の取付は、水平・垂直・ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。



● ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので、扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。



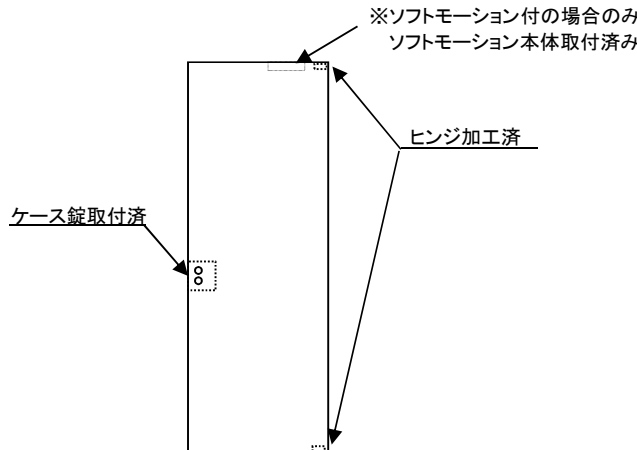
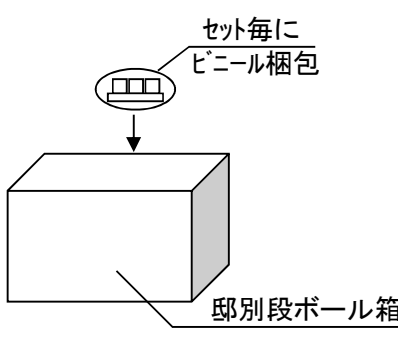
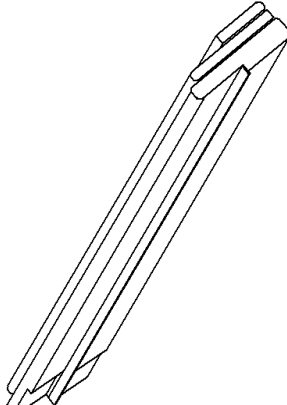
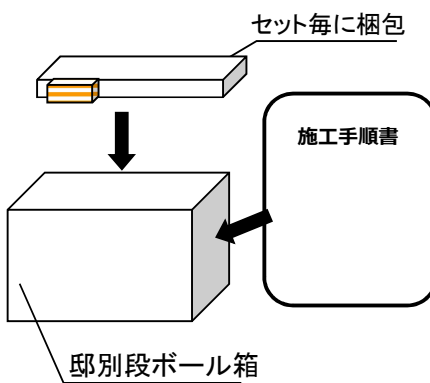
● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

□納品形態

扉と同時に納品されるもの	
建具	建具金物箱
	
下地枠と同時に納品されるもの	
下地枠	下地金物箱
	

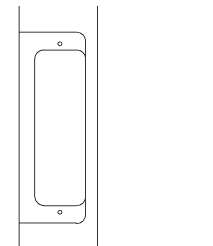
□金物箱の梱包内容

下地金物箱		片開き戸 標準ヒンジ	片開き戸 OP 隠し丁番	片開き戸 OP ソフトモーション	親子戸 標準隠し丁番	
枠側ヒンジ 		1セット	-	1セット	-	
ラッチ受け 		1個	1個	1個	-	
ソフトモーション受座 		-	-	1セット	-	
調整ビス【標準】 スペース1ヶ付 	コスレットビス【準耐火】 	28本	28本	28本	28本	
フランス落とし受け金物 		-	-	-	1セット	
建具金物箱		片開き戸 標準ヒンジ	片開き戸 OP 隠し丁番	片開き戸 OP ソフトモーション	親子戸 標準隠し丁番	
ハンドル 錠カバー 		1セット	1セット	1セット	1セット	
扉側ヒンジ 		1セット	-	1セット	-	
ヒンジカバー 		1セット	1セット	1セット	-	
ヒンジ用入隅レンチ 		1本	1本	1本	1本	
※1邸内で1本納品されます						
隠し丁番 		-	1セット	-	2セット	
※枠側・扉側の丁番一式で納品されます						

枠側ラッチ受け金物の取付

クロスが乾いてからラッチ受け金物の加工部分にカッターで切り込みを入れ、ラッチ受け金物を取付の際、クロスは巻込んでください。

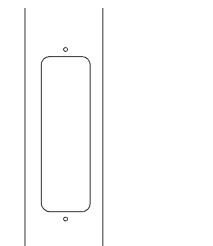
【クロス仕上げの場合】



加工図（クロス仕様）

塗り壁施工前にラッチ受け金物を加工部に取り付け、金物のプレート厚と塗り厚が同じになるように塗り壁施工で調整してください。

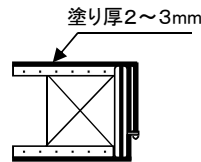
【塗り壁仕上げの場合】



加工図（塗り壁仕様）

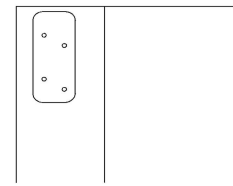
【注意事項】

ステルス枠「クロス」「塗り壁」仕様では金物の加工形状が異なります。塗り壁仕様の塗り厚は2～3mmを想定しています。



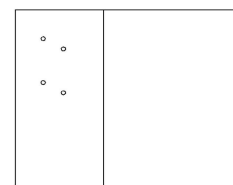
枠側ヒンジの取付(親子戸の場合は、後頁「隠し丁番の取付」参照)

クロスが乾いてから枠側ヒンジ(上下)の加工部分にカッターで切り込みを入れ、枠側ヒンジ金物を取付の際、クロスは巻込んでください。



加工図（クロス仕様）

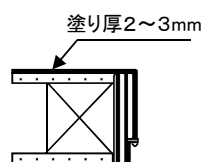
塗り壁施工前に枠側ヒンジ(上下)を加工部に取り付け、金物のプレート厚と塗り厚が同じになるように塗り壁施工で調整してください。



加工図（塗り壁仕様）

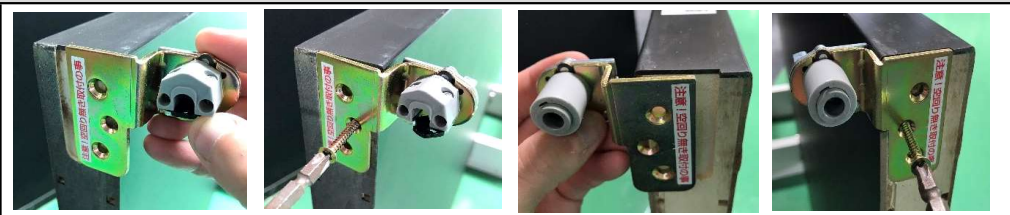
【注意事項】

ステルス枠「クロス」「塗り壁」仕様では金物の加工形状が異なります。塗り壁仕様の塗り厚は2～3mmを想定しています。



扉側ヒンジの取付(親子戸の場合は、後頁「隠し丁番の取付」参照)

建具の吊元上下にヒンジを取り付けます。

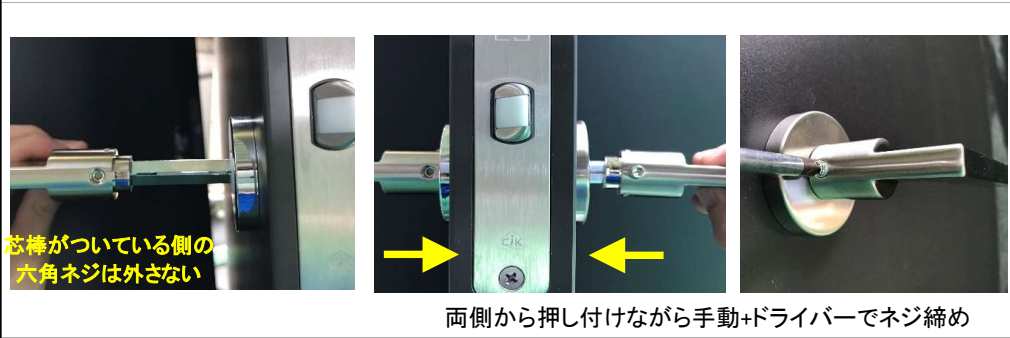


ハンドルの取付

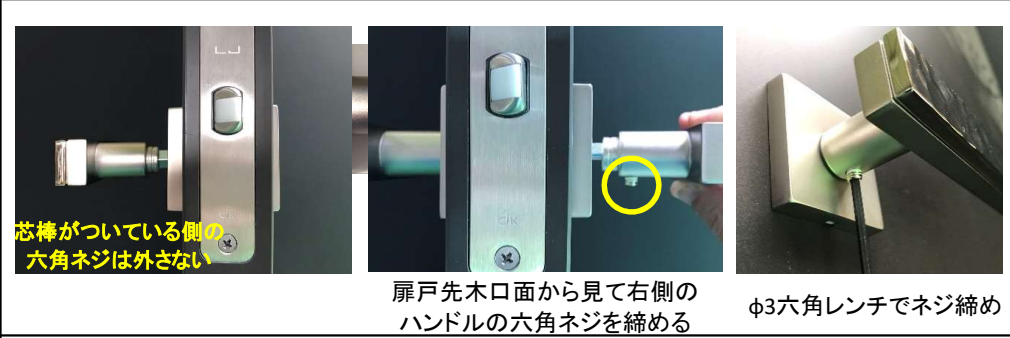
【共通：座の取付け】
座を挟み込み裏面に突起が無い方から付属のビスで取付けます。取付ける際は爪がある部分が下に来るように取付けてください。座のビスの締め込みは「カチッ」と鳴った後、更に約半回転を目安に締め込んでください。



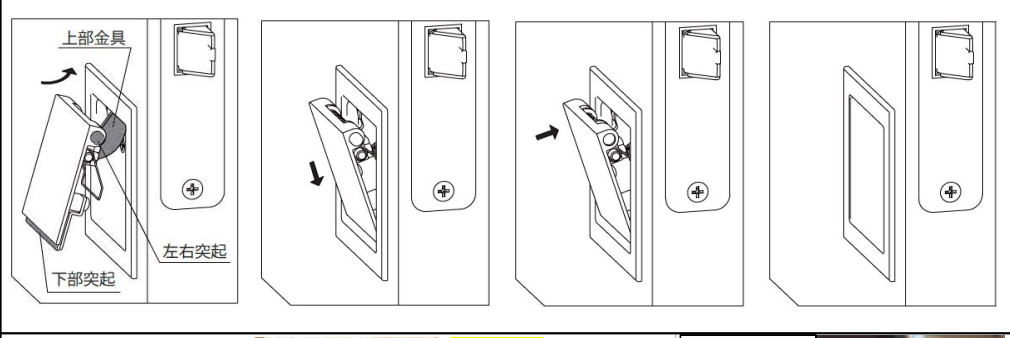
【固定ネジが+の場合】
ハンドルを座に差し込み、+ネジを締めてハンドルを固定します。
六角ネジは触らないでください。



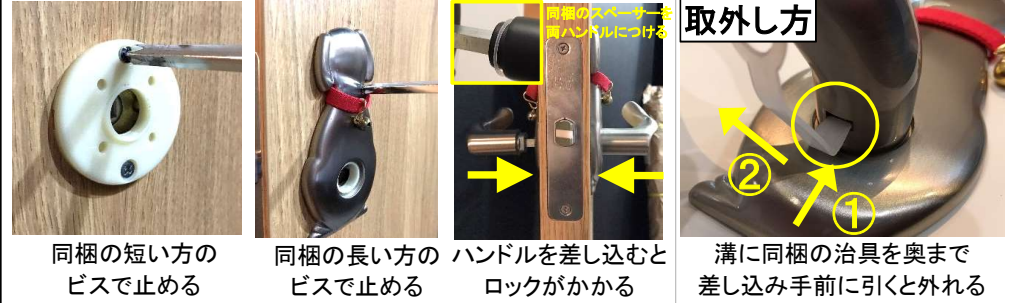
【固定ネジが六画の場合】
六画ネジが下側になるように取付けてください。**扉戸先木口面から見て右側のハンドルの六角ネジを締め固定してください。**



【プッシュプルの場合】
取付いているビスを外し、加工に合わせてはめ込み、外したビスで締め込んでください。次にプレートを上から引っ掛けて取付けてください。



【わんにゃんの場合】
座を同梱の短いビスで取付け、その上から座のカバーを同梱の長い方のビスで取付けてください。その後スペーサーを取付けハンドルを差し込んで取付けます。



扉の吊り込み(親子戸の場合は、後頁「隠し丁番の取付」参照)

扉を吊り込む前に、上部ヒンジのストッパーを開いておきます。
 その後、下部ヒンジ受けの軸に下部ヒンジを差し込みます。



扉側の上部ヒンジを軸の後ろ側から、軸に引っ掛けてください。
 最後に、上部ヒンジのストッパーを閉じてください。



ヒンジの調整(親子戸の場合は、後頁「隠し丁番の取付」参照)

ヒンジの調整は、建具吊り込み後に扉を閉めたままの状態で行います。
 前後及び左右の調整はプラスドライバーを左右に動かして調整を行い、上下調整は下部ヒンジの上下調整ねじを回して調整を行ってください。



【調整範囲】
 前 方向+2.5mm
 後 方向-1.5mm
 左右方向±2.0mm

ドライバーが吊元側の壁に当たって調整が出来ない場合は、同梱のヒンジ用入隅レンチを使用し調整を行ってください。



ラッチ受けの調整

ラッチ受けの調整は、建具の吊り込み後に手動ドライバーにて前後の調整を行ってください。

枠側ラッチ受けの場合



【調整範囲】
 手前方向-0.0mm(手前方向)
 後 方向+8.0mm(後 方向)

子扉側ラッチ受け(親子専用)の場合



【調整範囲】
 手前方向-2.0mm(手前方向)
 後 方向+2.0mm(後 方向)

ヒンジカバーの取付

ヒンジカバーは前方からスライドさせて奥まではめ込んでください。



【注意事項】

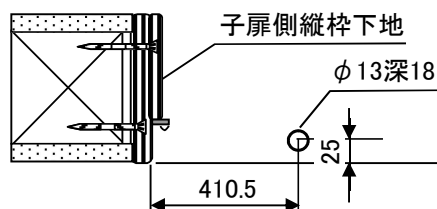
上部ヒンジのストッパーが閉じている事を確認してください。ストッパーが閉じていないとカバーが奥まで入りません。扉脱落防止の為必ずストッパーを閉じてください。



フランス落とし受け金物の取付(親子戸の場合)

フランス落とし受け金物を取り付けます。(上下共、子扉側の枠仕上げ面から410.5mm。見込み方向は、開き側から25mmの所が穴のセンターになります)

天井・床共通



別売の「床付マグネットストッパー」取付時の注意点

オプションのマグネットストッパーを取り付ける場合は扉の中央より吊元側には取り付けないでください。吊元側に取り付けると床付マグネットストッパー、及びヒンジに悪影響を与える恐れがあります。



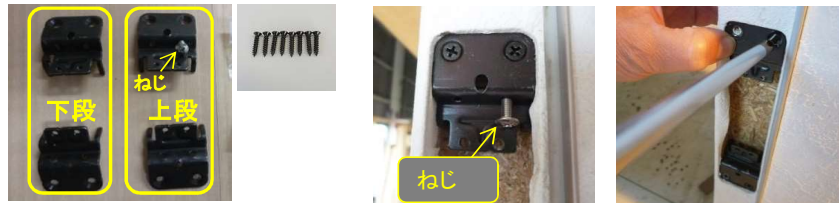
(扉中央より戸先側)



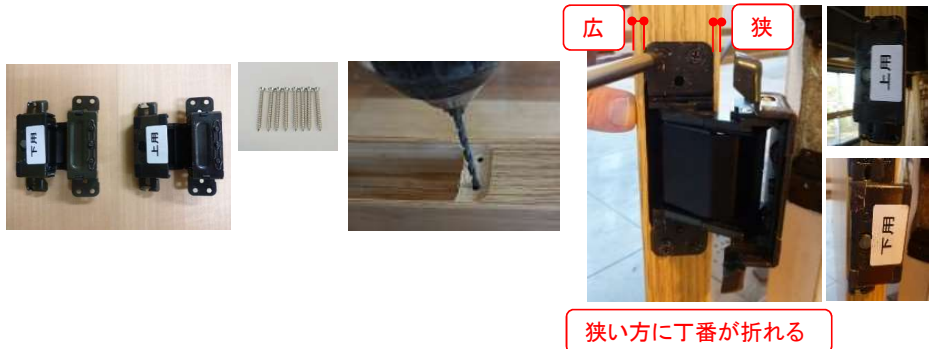
(扉中央より吊元側)

隠し丁番の取付

枠側に枠側取付ベースを取付けます。
 その際、枠上側の上段にはねじ付の枠側取付ベースを取付けてください。
 枠側への下穴はφ2.5深さ15~20mmであけてください。



扉側に上用丁番と下用丁番を取付けます。
 裏面のシール表示通り、上用と下用を間違えないようにしてください。
 扉側への下穴はφ2.5~φ3.0深さ約25mmであけてください。

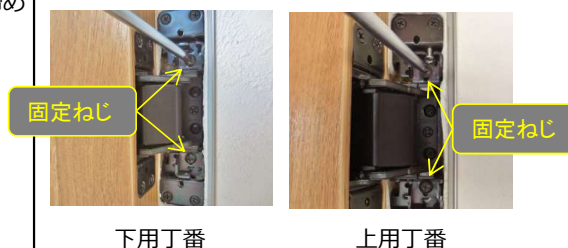


扉の吊り込み

建具を吊り込みます。
 扉側の上用丁番を90°になるようにセットし、吊り込みねじに引っ掛けてください。



下用丁番の固定ねじを締めてください。次に、上用丁番の固定ねじを締めてください。



隠し丁番の調整

- ①前後固定ねじ2本を調整が必要な分、緩めてください。
- ②前後調整ねじを右に回すと前に、左に回すと後ろに移動します。
- ③調整後に固定ねじを締めます。

【前後調整・枠側】



【調整範囲】
 前 方向+2.0mm
 後 方向-2.0mm

- ①左右固定ねじ2本を緩めます。
- ②左右調整ねじを右に回すと吊元側に、左に回すと戸先側に移動します。
- ③調整後に固定ねじを2本締めます。

【左右調整・扉側】



【調整範囲】
 戸先方向+2.5mm

- ①上用丁番、下用丁番の上下固定ねじを半回転緩めます。
- ②上用丁番の吊り込みねじを右に回すと上方向へ、左に回すと下方向へ移動します。
- ③調整後、上用丁番、下用丁番の固定ねじを締めます。

【上下調整・枠側】



【調整範囲】
 上 方向+2.0mm

隠し丁番カバーの取付

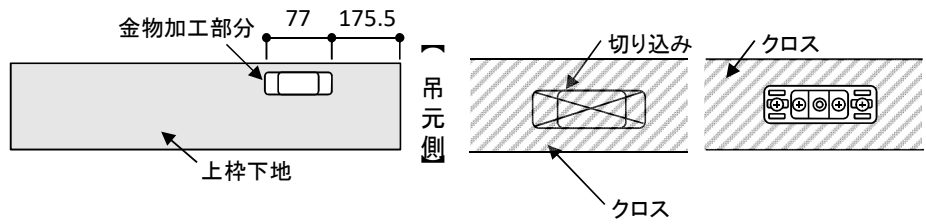
枠側カバーと扉側カバーを取り付けてください



ソフトモーションの取付・調整

クロス施工後に、上枠下地の金物の加工部分にカッターで切り込みを入れ、ソフトモーション受け座を、加工中央部に取り付けます。

【ソフトモーション受け座の取付】



扉を吊り込み、扉をゆっくり閉じきった後、扉を開けると、扉上部の本体引き込みアームが飛び出します。受け金物の受座軸が本体引き込みアームの溝から離れすぎたり、接触している場合は、下記のとおり調整してください。

【扉側引き込みアームと受け座の勘合】



受け金物の固定ナット(上写真)をゆるめ、受座軸を回しながら上下方向の調整を行い、固定ナットを固定してください。

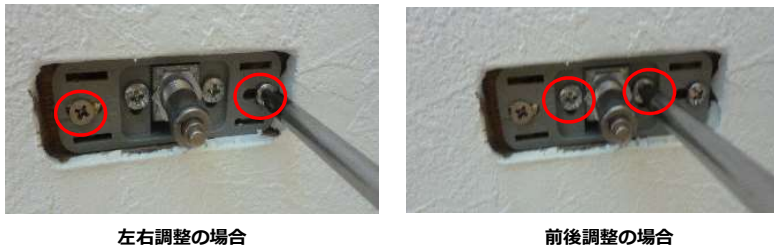
【上下調整】



	出荷時長さ
ステルス枠下り壁	10.0mm
上記以外	16.5mm

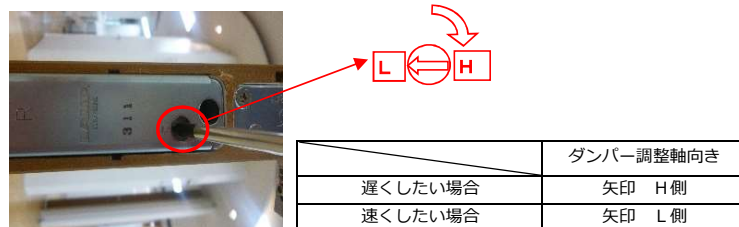
受け金物の調整ねじをゆるめて調整を行い、調整ねじを固定してください。

【左右・前後調整】



開閉速度が速い場合は、扉上部木口に取付済みのソフトモーション本体のダンパー調整軸を180°回して調整してください。

【速度調整】



調整が終わったら、ソフトモーション受座に受座カバーを取り付けてください。

【受け座カバーの取付】

